

【令和5年度以降専攻科入学者用】

創造工学プログラムの科目と学習・教育目標との対応表(電子情報工学科)・・・申請学士領域(電気電子工学)

◎はプログラム重要科目, ○①②③④⑤はプログラム関連科目

※ 専攻科部分については予定として記載

授業科目	必修	A										B		C		D		E		F		
		4	5	1	2	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			
日本文学	必1																					
哲学	必1																					
法学	必1																					
保健体育Ⅳ	必2																					
保健体育Ⅴ	必2																					
英語講読Ⅱ	必2																					
英語講読Ⅲ	必2																					
実践英語	必2																					
第2外国語	必2																					
応用数学A	必1																					
応用数学B	必2																					
確率・統計Ⅰ	必1																					
確率・統計Ⅱ	必2																					
応用物理Ⅰ	必2																					
応用物理Ⅱ	必2																					
電気回路Ⅱ	必1																					
電子回路Ⅱ	必2																					
電磁気学Ⅱ	必2																					
電子デバイス	必2																					
ソフトウェア工学	必2																					
コンピュータ	必1																					
オペレーティングシステム	必1																					
情報理論	必2																					
情報数論	必2																					
VLSI工学	必1																					
情報セキュリティ	必1																					
デジタル信号処理	必2																					
制御工学	必2																					
情報通信Ⅱ	必2																					
情報通信Ⅲ	必2																					
電子情報工学総合演習	必2																					
システム設計演習	必2																					
電子情報工学実験Ⅳ	必4																					
電子情報工学実験Ⅴ	必1																					
卒業研究	必10																					
数学基礎演習	必1																					
数学応用演習	必1																					
画像情報処理	必2																					
システム数理工学	必2																					
人工知能	必2																					
ロボット工学	必2																					
シーケンス制御	必2																					
インターンシップ	必7																					
環境技術	必2																					
技術者倫理	必2																					
線形代数	必2																					
数学・データサイエンス・AI	必2																					
サステナビリティ・サイエンス	必2																					
離散数学	必2																					
量子力学	必2																					
特別研究Ⅰ	必6																					
特別研究Ⅱ	必8																					
創造工学演習Ⅰ	必3																					
創造工学演習Ⅱ	必4																					
電子機械概論	必2																					
センサ工学	必2																					
エネルギー管理工学	必2																					
計測制御工学	必2																					
IoTシステム概論	必2																					
メディア工学	必2																					
エネルギー機械工学	必2																					
機械設計工学	必2																					
電磁応用工学	必2																					
機能素子工学	必2																					
生体情報工学	必2																					
日本語表現	必2																					
英語コミュニケーションⅠ	必2																					
英語コミュニケーションⅡ	必2																					
日本文化論	必2																					
健康科学	必2																					
開講単位合計単位		35	39	38	36																	
		74	74																			

(備考)

- 1年次の総修得単位数が30単位に満たない者は、2年次配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。
- 複合工学修得コースにおいて、1年次に創造工学プログラムの学習到達目標C(2)の総合的評価を満たさない者は、2年次配当の創造工学演習Ⅱを履修できない。

(創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価をA-E項目で示し、コース別の学習・教育目標と達成度評価をFで示す。)

創造工学プログラムの学習・教育目標と達成度評価

A. 科学技術や情報を利用してデザインし創造することに喜びを知り、たゆまず努力する技術者を育成する。

- (1)基礎工学(設計システム, 情報論理, 材料バイオ, 力学, 社会技術)の科目を修得している。
- 【表1の基礎工学の5つのプログラム科目群で各群から1科目以上計6科目以上を修得すること。】

表1. 基礎工学のプログラム科目群と科目名(◎は重要科目)

①設計システム系	◎電気回路Ⅱ	◎電子回路Ⅱ	計測制御工学
IoTシステム概論	情報理論	情報通信Ⅱ	メディア工学
②情報論理系	◎電子デバイス		
③材料バイオ系	環境技術		
④力学系	応用物理Ⅰ	応用物理Ⅱ	量子力学
⑤社会技術系			

- 【専攻科専門共通科目から17単位以上を修得すること。】
- (2)PBL(Problem-based Learning)の経験から創造の喜びを修得している。
- 【プログラム重要科目である卒業研究, 創造工学演習Ⅰを修得すること。】

B. 問題を発見・提起し、修得した技術に関する知識や理論によって解析し、解決までできる技術者を育成する。

- (1)学士の学位を取得できる専門工学の知識と能力を有する。
- 【表B(1)の科目から34単位以上を修得すること。】

→【専攻科専門展開科目から35単位以上を修得すること。】

- (2)数学(情報処理)・物理による理論的解析能力がある。
- 【表B(2)のプログラム関連科目から2単位以上を修得すること。】

C. 国際社会を多面的に考えられる教養と語学力を持ち、社会や自然環境に配慮できる技術者を育成する。

- (1)国際社会を多面的に考えることができる。
- 【表C(1)のプログラム関連科目から12単位以上を修得すること。】
- (2)外国語によるコミュニケーション能力がある。
- 【表C(2)のプログラム重要科目である英語コミュニケーションⅠを修得すること。】

※【C(2)の総合的評価】
総合英語到達度試験に合格すること。ただし、TOEIC400点相当、英検2級、技術英検2級取得のいずれかをもって代えることができる。

- (3)技術者に要求される社会的責任(技術者倫理)を考えることができる。
- 【表C(3)のプログラム重要科目である技術者倫理を修得すること。】

※【C(3),D(2)の総合的評価】
特別研究関連分野に関する技術者倫理/環境関連のテーマについてレポートを提出する。

D. 実践的な体験をとおして、地域の産業や社会が抱える課題に積極的に対処できる技術者を育成する。

- (1)地域企業などでのインターンシップをとおして、実務上の問題点と解決法の現状を体得している。
- 【プログラム重要科目であるインターンシップを修得すること。】

- (2)実務上の問題点として、いろいろな環境技術について検討できる。
- 【プログラム重要科目である環境技術を修得すること】

E. チームプロジェクト等を遂行するに必要な計画性をそなえ、論理的な記述・発表ができる技術者を育成する。

- (1)日本語による論理的な記述, コミュニケーションができる。
- 【表E(1)のプログラム重要科目を修得すること。】
- (2)地道に行った研究成果を口頭発表できる。
- 【表E(2)のプログラム重要科目である特別研究Ⅱを修得すること。】
- ※【E(1),E(2)の総合的評価】
特別研究の成果について、学会等で外部発表を行うこと。
- (3)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめることができる。
- 【プログラム重要科目である創造工学演習Ⅱを修得すること。】

コース別の学習・教育目標と達成度評価

F1. 複合工学修得コースの学習・教育目標
いくつかの工学の知識を修得し、幅広い考察ができる技術者を育成する。

- (1)申請学士領域以外の工学の知識を修得し、幅広い考察ができる。
- 【専攻科におけるF(1)のプログラム科目群の中から、計6単位以上を修得すること。表2にそれぞれの科目名を示す。】

表2. 専門共通・展開科目群の科目名(◎は重要科目)

専門共通科目	サステナビリティ・サイエンス	◎環境技術
専門展開科目	◎電子機械概論	◎エネルギー管理工学
機能素子工学	エネルギー機械工学	機械設計工学

F2. 専門工学探究コースの学習・教育目標
専門工学を探究し、深い考察ができる技術者を育成する。

- (1)申請学士領域の工学を探究し、深い考察ができる。
- 【学士を取得する専門工学における表B(1)の専攻科の科目から12単位以上を修得すること。】